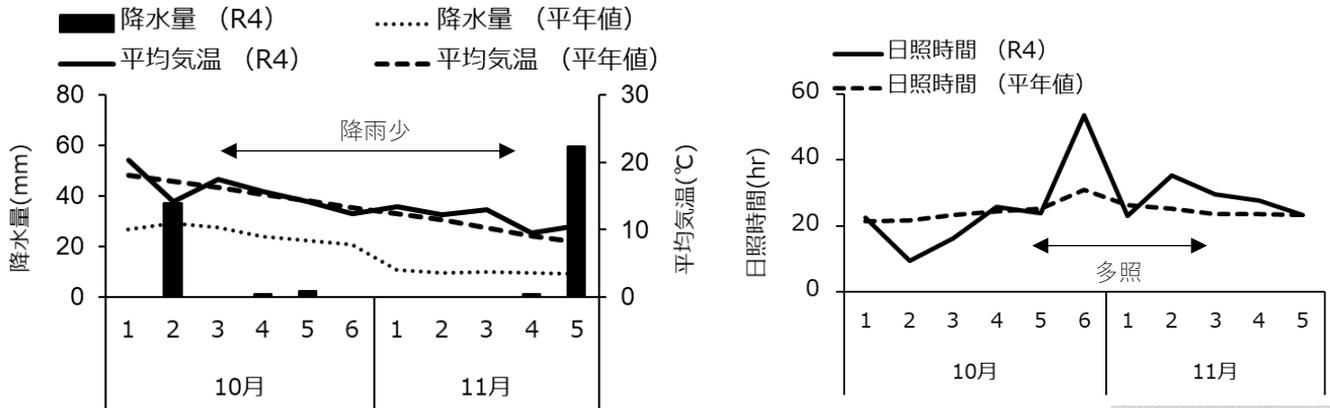


仙台麦作情報

麦踏みを実施しましょう

1 気象経過 (10月第1半旬~11月第5半旬, 仙台アメダス)



- ・今年(2022年)は10月から晴れた日が続いており、適期に播種をできたほ場が多いようです。播種時期後の気温が平年よりやや高く、日照時間も多く推移しています。そのため生育が進んでいるほ場が多く見受けられます。年内中に麦踏みを行えるよう準備しましょう。
- ・仙台の生育調査ほ場(10/15頃播種)では、11/29時点でシュンライ、ホワイトファイバーともに5.5葉期前後で、分けつが3本程度です。



↑ 仙台の生育調査ほ場
ホワイトファイバー

2 今後の栽培管理

3~4葉期以降から麦踏み可能です。



(今年は生育が早いので、早めに葉数を確認しましょう!)

【麦踏み】

- ・実施時期：年内に1回 + 越冬後雪解けから茎立ちまでに1~2回

「茎立ちまで」の目安：主稈長 2cm程度、幼穂長 2mm程度

※下記の状態では逆効果となってしまうため、麦踏みは行わないでください。

- ① 生育遅れで3葉期未満 ② 鳥類の食害がある ③ ほ場が湿っている

- ・効果：越冬前→寒害・霜柱防止，越冬後→穂揃いの均一化など
- ・「ホワイトファイバー」は、「シュンライ」と比べてやや倒伏しやすいため、越冬後は1~2回を目安に麦踏みを実施しましょう。
- ・特に暖冬時は効果が大きいので、今年はできるだけ実施しましょう。

○ 1か月予報 11/26~12/25 (仙台管区气象台 11月24日発表)

気温：平年と比べて、11/26~12/2は高い確率70%，12/3~12/9は低い確率50%，
12/10~12/23は高い確率40%です。

降水量・日照時間：平年と比べて、降水量は多い確率50%，日照時間は低い確率40%です。